

祝「国の重要伝統的建造物群保存地区」指定（令和元年 12 月 23 日）

万里一空将棋教室（佐用子ども将棋教室たつの教室）

桂馬

香車



# 榊菜吟女流 2 級の指導対局会

指導対局/地場産商品争奪トーナメント戦/サイン色紙プレゼント（抽選）



## 第 9 回 脇坂安宅杯争奪トーナメント戦

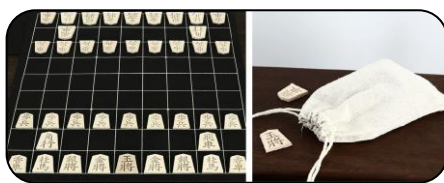
わきさかやすおり

◎トーナメント商品（たつの 3 大地場産品）

- ・醤油 醤油 3 本セット、  
牡蠣だし醤油
- ・手延べそうめん 揖保の糸特級品ひね、  
揖保の糸上級シナ
- ・皮革 本革将棋セット、その他



榊女流 2 級



本革製の駒・盤とコットン製ポーチの 3 点セット



### ※龍野藩と脇坂家

播磨の小京都「たつの市」は、今も江戸期の町並みがそのまま残る貴重な城下町です。

その昔、将棋好きな信長、秀吉、家康に仕えた脇坂家は、徳川幕府の譜代大名としてこの龍野藩で約 200 年間、江戸、京都の文化を開花させました。

第 9 代藩主安宅（やすおり）は幕末に寺社奉行、京都所司代、老中と昇役し 1858 年日米通商条約締結の時、脇坂は「大日本帝国外国事務老中」の肩書きで署名しています。

### ※御城将棋と寺社奉行安宅

1850 年 11 月 17 日龍野藩江戸屋敷にて八代大橋宗眼×八代伊藤宗印（十一世名人）の御城将棋（時間のかかる将棋は寺社奉行か老中邸）が指されました。この時の棋譜は、今も国立国会図書館に保管されており午前 9 時～午後 6 時まで、戦型は今はときめく藤井聡太二冠の得意戦法角換わりの将棋でした。安宅も今から 170 年前、現在の棋界のタイトルホルダー、トップ棋士が多用する将棋を目の前にしていたかと思うと、伝統文化将棋の奥深さ、歴史を改めて感じます。

彼（脇坂家）は、醤油、素麺、皮革の産業の奨励にも力を入れ現在それぞれが全国区の知名度になる礎を築きました。

以上のような歴史文化を持つたつの市で活動する当教室では、彼の威徳を偲んで「日本一伝統文化将棋の似合う街」をコンセプトに企画しました。

日時/令和 6 年 4 月 28 日（日）12:30 受付 13:00 開始  
場所/JR 姫新線本竜野駅から徒歩 3 分「たつの市産業振興センター」  
兵庫県たつの市龍野町堂本 38-1 TEL 0791-63-9961  
JR 姫路駅、姫新線乗り換え本竜野駅下車、駐車場あり



国の重要伝統的建造物群保存地区  
龍野の町並み（たつの市）



第 8 回脇坂安宅杯の様子



会場

- 将棋に興味がある方なら何方でも参加できます。（申込時概ね段・級と連絡先、小学生以下はその保護者名をお知らせ下さい）
- 12:30 より受付開始、開催時間は 13:00 より 18:00 を予定しています。
- 参加費 大人 2,000 円 子ども 1,500 円(高校生以下)
- 全員に参加賞あり
- 定員 約 32 名。申込制 定員になり次第、×切らせていただきます。
- 指導対局とトーナメント予選は 4 人 1 組で進行します。予選 2 勝→決勝 T へ、2 敗→敗者 T へ
- トーナメント戦は、手合い割り戦とし予選 T は 10 分 30 秒、決勝 T・敗者 T は 15 分 30 秒の対局時計使用(進行状況により変更)
- 決勝 T、敗者 T 時に指導対局の番に当たられた方は、どちらかを決定していただきます。
- 表彰他/決勝 T は 3 位まで表彰、ベスト 6 まで商品、敗者 T は 3 位まで商品を進呈。
- 当日、参加者全員の中から抽選で 5 名様にサイン色紙を進呈します。
- 指導対局は、時間の関係で最大 20 名。子ども優先で先着順とさせていただきます。
- お車でのお越しの方は駐車場があります。

※時下、会場では細心の注意を払い、手指消毒、換気の実施をいたしますので各自手洗い、マスク着用のご協力をお願い申し上げます。

お申し込み・お問い合わせ：Eメール [nomumasu@ymobile.ne.jp](mailto:nomumasu@ymobile.ne.jp)

FAX 0790-79-3727

携帯電話 090-8365-1671（野村）